

警城時報

行發日六十... 印刷所警城時報社... 印刷所警城時報社

民政黨支部臨時大會

今秋の縣議選舉に備へ 愈々近く平市で開催か

民政黨支部某有力者の語るとを擧げる作戦と見られてゐる。署で開き、二十六日正午から審査

政友派も對抗

對策臨時大會開くか

別項、縣議改選に於て民政派が平市に臨時大會を開き野崎氏を支援することに決定すれば、政友派にとつても絶対に負けられぬ戦ひだけに民政派に對抗して

軍用馬鍛練會

高久、夏井、豊間三ヶ村聯合軍

剣道講習會

武徳會縣支部では時局下に練武精神を一層昂揚するため武徳講習會を開催する

農村更生を計る

石城郡經更委員會誕生

戦時下の經濟更生運動強化を目標期限までこれが毛皮代を國防的に此程結成された石城郡經濟委員會として献納することを申出で

あと二日で元日

淋しけれど頼もしい 戦時下に迎ふる舊正月

戦時下の經濟更生運動強化を目標期限までこれが毛皮代を國防的に此程結成された石城郡經濟委員會として献納することを申出で



捕賊表彰

平署員十五名が

平署員左記十五氏は捕賊功勞により君島知事から金一封を添へ表彰された

出征家族の商店へ

平商生の二日市奉仕

平商業學校では毎年舊正月二日を豫想され淋しく頼もしいの初賣當日は市内商店の希望に自衛隊の戦時正月を迎へること

四倉の賭博

四倉町宇田家エイ方で十五

炭礦長屋焼く

十六日午前四時十分頃好間村下

湖南の風光満喫

市内下平窪出身大久保部隊

再三に亘る慰問の奮闘が難く再々捨て難き風情にて故山の秋を

喫煙室

六月改選の貴族院議員 改選問題は漸やく地方民の話題に上り、一部

るところなど小野氏の人格と手腕の然らしむるものであらう

當面の小野町長、冗談じやない、幹事長に成つたばかりで貴族院に出来る柄ぢやないかと大いに謙遜、出馬説を否定してゐるが、家柄から見ても小野家は代々小名瀬地方切つての豪族で父子二代續いて町長の要職に就き、柄の点からは貴族院に出ることに何等不思議にあらず、周囲の事情は小野幹事長の貴族候補を有力化してゐる模様である

今夜は西の風 明日は南西の風 警時々々

ファイバー製 國策ランドセル發賣

魁文堂

牛豚肉 平市田町 三三三屋 電話三三三番

雪國民の忍苦を想ふ

野澤 武藏

筆者は北國の端れ青森市に生れ、雪に對する經驗は充分味つてゐるつもりだが、氣候風土に恵まれた平市に住居して既に八年、雪國民の悲惨な生活の半面をケロリと忘れ雪に對する觀念は單に豪放壯快極まるスキ一の醜態味を滿喫することの出來ないことを遺憾に思ひ、雪を戀するや切なるものがあつた、過叔叔父の赴報に接し山形縣新庄町近くの田舎街に抜け、雪に埋もれ、殆んど社會と隔絶し近隣との交際も斷つ生活狀況を見て、今更の如く降雪を見ない平市に住ひしてゐることを有難く感じた。

雪國の百姓には霜を刈つた後へ野茶を晒し、麥を植える二毛作など夢にも想像出來ず、冬期中に田を耕すことの出來る暖國の百姓は幸福である、雪に埋もれた百姓家を訪れると、薄暗い雪窓の下で一家を擧げセツセと織細工の製作に他念ない、筆者の知つてゐる頃(十五六年前)の雪國青年は、冬期手土産さみなどとして多くは隆服をむさぼつてゐたものであつたが、非常時を認識した雪國民の緊張振りを見て妙からず意を強ふることが出來た。

積雪のため自動車の運行が出來ず、馬ソリが唯一の交通機關であるが、新庄町では馬ソリの交通困難な程雪のため道路が狭められ、まして田舎道の如きは細い一條の雪道で馬ソリが行き違ふと大變、双方の馬子から乘客まで手傳つて雪を踏み堅め道を通り、作つて相譲り、交通道徳を遵守する純朴さは、平附近で難き逃げして恥としない雲助連轉手と對照して感心させ

無年
許免臣大藏大
社會盡無信用本湯
番七四話電

アルバム
新鮮な生地
御卒業記念に、その他の御贈答用に最近非常に多く用ゐられる、襟になりました。
格安品も深山でございます、どうぞ御覽の程を。

外科科一般
金成醫院
平市銀田町 電話三五八番

電話五九二番
に變りました
サロ
平市銀座街

最新流行の
下駄と草履
ドヨリモ安い 三井履物店
平南町 電話一八一番

太鼓 各種
神社佛閣用太鼓
武徳道場用太鼓
歓迎迎用音楽隊樂器 (タナク製品)
……カクログ進呈……
平市六町目
佐藤太鼓樂器店
電話四八三

冷凍魚
日本水産特約(電三六三三六)
卸賣平製氷會社
尾箱が果代産品下 平魚同屋
電話五二八

西 村 屋 藥 局
電話 3番です
藥品百貨
寫真機材料の店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

仙のいか切込
平市十橋 仙鈴藏魚店
電話六六二番

十一屋食堂
平局前 電話三七三番
出前迅速
女店員・コック見習至急入用

父山野邊覺儀昨年より病氣療養中の處二月九日急性肺炎併發し十五日午後二時三十五分遂に永眠仕候
追而送葬の儀は本月十七日午後三時神式により好間村權現堂の自宅に於て告別式執行仕可候
尚三月六日午後三時泉村字泉の生家に於て慰靈祭執行可致候
昭和十四年二月十六日
親戚總代 山野邊 三郎 武

スッポン酒 二圓
スッポン活血錠 三圓・五圓
店賣販下縣
局藥邊野山 目丁五・平

夜 診
腸胃 門專
胃腸病科 內科
花柳病科 泌尿器病科
皮膚病科 肛門病科
院醫科腸胃村松
療 (番七〇一電) 町南市平 間